

計算書類に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産

定率法によっております。耐用年数は5～20年です。

無形固定資産

定額法によっております。耐用年数は5年です。

(2) 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金及び短期金銭債権債務(短期貸付金及び短期借入金を除く)を含めております。

2 次期繰越収支差額の内容は次のとおりであります。

科目	期首残高	当期末残高
現金預金	1,114,453,491	276,345,097
前払費用	19,720,668	4,197,100
未収入金	446,693,911	138,605,696
立替金	1,869,386	409,056
未収消費税等	0	54,154,700
預り基金特定資産	39,127,805,727	1,059,758,277
合計	40,710,543,183	1,533,469,926
未払金	971,963,811	180,867,402
未払法人税等	89,251,300	70,000
未払消費税等	74,683,200	0
預り金	67,371,933	22,916,646
預り基金	39,280,805,020	968,670,967
合計	40,484,075,264	1,172,525,015
次期繰越収支差額(期首資金有高)	226,467,919	360,944,911